## 構造物の補修・補強フォーラム
# 技術向上の一助に
### コンクリートメンテナンス協会

コンクリートメンテナンス協会（JCMA）鹿児島地区会員の㈱南防（原田毅会長）が主催する「コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム2014」が9日、鹿児島市の県建設センターで開かれた。行政や建設業関係者ら約350人が参加し、工法選定の考え方や効果的な補修工法などに理解を深めた。

効果的な補修工法に理解を深めたフォーラム＝鹿児島市の県建設センターで

JCMAでは全国各地でフォーラムを毎年実施しており、本県では2回目の開催。講演に先立ち同協会の徳納武使会長が「本日は、最新の知見や技術を交えグレードアップ。今後の補修業務の組み立て方の参考にしてほしい」と挨拶した。

講演では、江良和徳工学博士（極東興和㈱）が、コンクリートの劣化事例やその要因に応じた工法選定、亜硝酸リチウムによる補修工法について解説。その中で江良氏は「多くのコンクリート構造物は高齢化が進んでいるのが現状で、適切な維持管理により延命化を図ることが急務」とした上で、「常に最新知識を吸収し〝持続可能な社会の形成〟を目指すことこそ、今後進むべき将来像である」と訴えた。

このほか、日本ペイント販売㈱の中丸大輔氏（コンクリート診断士）による「コンクリート剥落防止と塗膜型剥落防止システム」の紹介もあった。

原田会長は「鹿児島では初めて、県が発注する堰柱補修に亜硝酸リチウムを用いたリハビリ工法が採用。東京・大阪に次ぐ規模の来場があり関心の高さがうかがえる。講演が、コンクリート構造物の維持管理技術向上の一助になれば」と語った。

## JIA総会
# 新地域会代表に石川氏

石川幸男新地域会代表

日本建築家協会（JIA）九州支部鹿児島地域会（中俣知大地域会代表）はこのほど、鹿児島市のブルーウェーブイン鹿児島で2014年度総会を開いた。役員改選では、新地域会代表に石川幸男氏（㈱武田建築事務所）を選出した。

議事では、新年度事業計画など審議し了承。主な事業は、韓国全羅北道との国際交流で、迎え入れの年であることから、建築パネル展の実施や学生との交流の場の創出。このほか、若手建築家による講演会の開催などを計画。また、大学在学中の学生に対し、新たに設計作品の表彰などの検討に入ることを決めた。

講演会開催などを決めた総会＝鹿児島市のブルーウェーブイン鹿児島で

石川新地域会代表は「若い建築家たちが入会したいと感じるような魅力ある会にしていきたい」と抱負を語った。

なお、後日行われた九州支部総会で、下山道男氏（㈲グリフィン・アーキテクツ）が副支部長に就いた。

新役員は次の通り。

地域会代表＝石川幸男▽地域会副代表＝中原祐二　岩田幸千▽幹事＝下山道男　西久志　中山高士　肥後潮一郎▽監査＝奥平容三▽相談役＝中俣知大　蓑田満康

# 県との災害協定締結へ
## 県地質調査業協会総会

県地質調査業協会（宇都忠良理事長）は9日、鹿児島市のホテル・レクストン鹿児島で第36回通常総会を開いた。県との大規模災害協定書の締結や地盤情報のデータベース化を進め、県内各地の地盤図作成を目指すほか、技術伝承セミナーなど技術向上を柱とした新年度事業計画を決めた。

ボーリングマシン講習会の開催なども決めた総会＝鹿児島市のホテル・レクストン鹿児島で

議事では、2013年度事業経過・決算報告や14年度事業計画・予算案などを原案通り可決承認。主な事業計画は、ジオパーク推進事業への協力や事業量確保のための要望活動、技術力向上に向けたボーリングマシン講習会などの開催、ボランティア活動－など。

宇都理事長は「これまで培ってきた技術の蓄積や若年技術物確保等には、継続的な事業量確保が求められる。当局に対しては、これまで以上に県内企業への入札参加を呼び掛けていきたい。また、今年中には県との災害協定書の締結を図りたい」と話した。

## 鹿児島市職業訓練協会総会
# 森口会長続投　訓練事業の強化を

鹿児島市職業訓練協会（森口清水会長）は9日、鹿児島市の鹿児島高等技術専門校で2014年度通常総会を開いた。

訓練事業の充実強化などを柱とする新年度事業計画を決めたほか、任期満了に伴う役員改選では森口会長（㈲森口塗装）の続投を決めた。

議事に先立ち、森口会長が「今年も10人の新入生を迎え、昨年末と同じくらいの在校生を抱えることができた。引き続き皆さんの協力をお願いしたい」と挨拶。中園隆二郎鹿児島高等技術専門校長も「生徒数減少で厳しい状況ではあるが、有能な技能者育成に傾注していきたい」と述べた。

訓練生の確保対策など決めた総会＝鹿児島市の鹿児島高等技術専門校で

議事では、森口会長を議長に、13年度事業報告・収支決算、14年度事業計画・予算案などを審議し、原案通り可決承認。また、役員改選では森口会長をはじめ、副会長の永田修二氏（㈲永田㈱工務店）と山元成巧氏（山元木工）を再選した。

新年度事業計画には、①訓練事業の充実強化②生活指導の確立③訓練生確保対策－などを盛り込んだ。

# 新会長に川畑氏
## 二十四日会総会

二十四日会（榎田智博会長）はこのほど、鹿児島市のアクアガーデンホテル福丸で第39回通常総会を開いた。新年度事業計画を決めるとともに、任期満了に伴う役員改選では、新会長に川畑智洋氏（南生建設㈱）を選出した。

議事では、牧謙二氏（㈱大隅機工）を議長に、2013年度事業経過報告や14年度事業計画案などを審議し、全会一致で了承した。主な事業計画では、40周年記念祝賀会を6月6日に行うことなどを確認した。

川畑新会長は「今年は40周年の節目。記念祝賀会の開催に向けて皆さんの協力をお願いするとともに、会が発展していけるよう取り組んでいきたい」と抱負を語った。

新役員は次の通り。

▽会長＝川畑智洋▽副会長＝平床淳（平床建設㈱）▽幹事＝富永隆一（㈲富永緑化土木）木原真一郎（思川建設㈱）酒匂秀晃（㈱吉屋組）▽監査役＝榎田智博（㈱榎田組）▽会計＝大城仁（㈱大城）

## 知覧建設業組合総会
# 近藤組合長再選　貢献活動など盛る

知覧建設業組合（近藤友征組合長）は8日、南九州市のやなせで2014年度通常総会を開いた。地域貢献活動の実施などを盛り込んだ新年度事業計画を決めたほか、役員改選では近藤組合長（㈱田川組）を再選した。

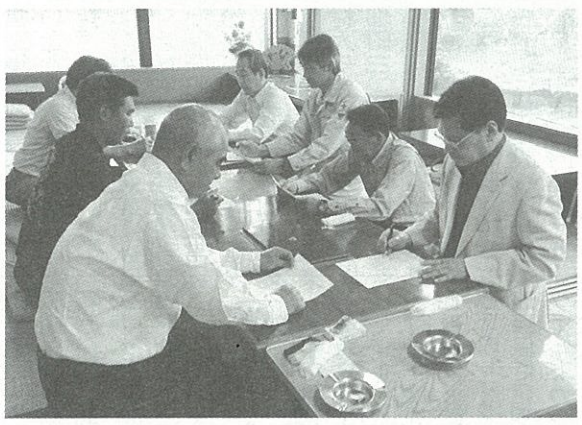
議事では、2013年度事業経過・収支決算報告、14年度事業計画・収支予算案などを審議した結果、執行部原案通り可決承認。任期満了に伴う役員改選では、全役員の留任を決めた。

新年度事業計画は、地域貢献活動の実施や研修会の開催－など。

近藤組合長は「より良い地域社会づくりに向け、共に切磋琢磨していこう」と呼び掛けた。

新役員は次の通り。

組合長＝近藤友征▽会計＝今村次典（㈱堀之内建設）▽監事＝前原米男（㈲前原建設）


全役員の留任を決めた総会＝南九州市のやなせで

お手軽で便利な購読料のお支払いは
［自動振替で］
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ